



YAMACOLOR

Lightroom Presets

200

Inspired by film. Designed as a standard.

A versatile 200-speed tone defined by clean blues, natural skin and balanced midtone depth. Engineered for consistency across light — from daylight to tungsten.

目指したのは、いつかのための色。



CONTENTS

- 01** Intro
- 02** Tone
- 03** Color
- 04** All in one Package
- 05** Nuance
- 06** Simple Workflow
- 07** Outro

撮ってすぐは、色や雰囲気を感じる。
でも何年か経って見返したとき、
目がいくのは色じゃなくて、
そこに写っている人や場所や空気だと思う。

だから私たちは、
写真の主役が「色」にならない色を作った。

当たり前が、当たり前で写る。
それがどれだけ難しいか、
毎日フィルムを現像している僕たちは知っている。

目指したのは、いつかのための色。





Tone

フィルムのやわらかさを 目指したトーン

YAMACOLORのトーンは中間調の豊かさを軸に設計しています。

フィルム写真はコントラストが意外と高いのに、全体の印象としては軟かく見える。

その感覚の答えをデジタルで再現しました。硬いのにかい、被写体やその場の光を感じられるトーンを目指しています。

Color

どんな光でも
安心して使える色



特定のフィルムの再現ではなく、様々なフィルムの色の良さとヤマプリの仕上げの感覚をもとに設計しました。色相を動かしすぎず、各色がしっかり分離しながらも自然で心地よい色味に。異種光源が混ざる環境でも破綻しにくい、どんな光でも安心して使える色です。

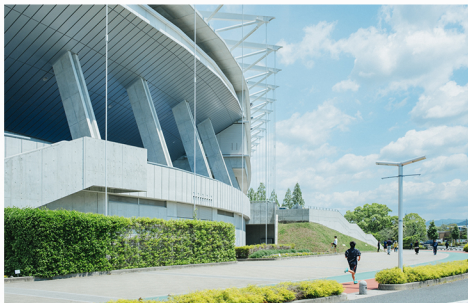
All in one Package

様々なトーンを気分に合わせて

YAMACOLOR 200 には、メインプリセットの他に様々な部分プリセットを収録しています。

ネガの特徴を模した6種のトーンカーブや、周辺減光、フィルムらしい雰囲気不足色被りプリセットなど。

その日の気分や写真に合わせて、好みの仕上がりに追いつくことが可能です。



01 Daylight

02 Candlelight

03 Daylight Aged

04 Tungsten Aged

05 Muted

06 Highlights Reduced

07 Dense Tone Deep

08 Dense Tone

09 Normal Tone

10 Fade Light

11 Fade

12 Fade Deep

13 Vignetting Off

14 Vignetting Few

15 Vignetting



Grain

フィルムのような自然な粒子感

粒状性は、存在を感じつつも粗すぎない35mmフィルム ISO200の粒子感を再現しています。デジタル特有の滑らかすぎる質感を抑えることで、写真としての存在感を自然に引き上げます。

拡大イメージ



Ageing type 01

Daylight Aged

ヤマプリらしい、ほんのり青緑の強い仕上げにできるプリセットです。メインプリセットの後に当てることで、クリア過ぎない雰囲気写真を写真にプラスすることができます。



Ageing type 02

Tungsten Aged

ヤマプリらしい、ほんのり青緑の強い仕上げにできるプリセットです。メインプリセットの後に当てることで、クリア過ぎない雰囲気写真を写真にプラスすることができます。

Simple Workflow

必要な調整は3つのパラメーターのみ

YAMACOLORは、複雑な編集を前提にしていません。

露光量／ホワイトバランス／色被り補正

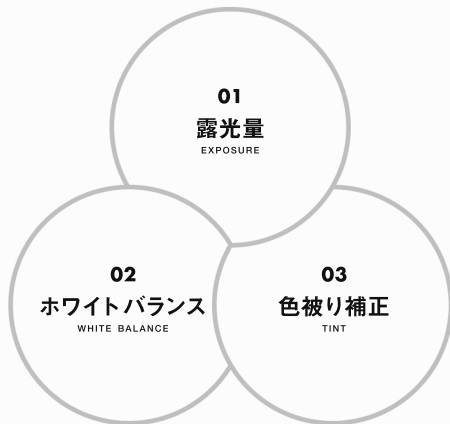
この3つを調整するだけで、自然に写真が仕上がるよう設計しています。また、プロファイルもあるため、メーカー問わずYAMACOLORの色味が再現できます。

作り込みすぎないから、複数枚を並べたときにも自然な流れで見ることができます。SNSのアルバム投稿でも、写真集のページをめくるときでも、色のばらつきで中身への集中が途切れない。

プリントした時にもその良さが残るように設計しています。

モニタで完結しない、紙に焼いても美しい色。

写真屋が作ったプリセットの、ひとつのこだわりです。





SPECIAL FEATURE

濱田英明

山本さんにフィルムの現像とスキャンをお願いするようになってから、気づけば10年以上が経ちました。その間、数え切れないほどの改良と改善を重ねていただき、今では何も言うことがないと思えるほど、「これぞヤマカメ!」という色に仕上げてくださいありがとうございます。

『YAMACOLOR』には、そうした積み重ねのなかで培われたであろう感覚と、山本さんの色、そして写真そのものに対する思想が詰まっているように感じます。『YAMACOLOR』ならそれだけで大丈夫。そう思えるほど信頼できる色とトーンがそこにあります。

ぜひ多くの方に、その色を体験していただけたらと思います。

YAMACOLOR発売に寄せて

去年新しくした山本写真機店のWebページにこんな一文がある。

フィルムの写真もデジタルの写真も、
どちらも大切な人生の記録。
撮影デバイスに関わらず、
すべての写真で山本写真機店の考える
理想の色味を追求します。

YAMACOLOR200はこの考えから生まれました。

自分の色の知見を吐き出すことに、抵抗や躊躇がなかったわけではない
(むしろ今でもめちゃくちゃ葛藤はある)、去年ローンチした「ヤマプリデジ
タル」は、まさにそこに切り込んだ試みで、RAW現像を自分でやらない人の
役に立てている自負もある。

でも、白黒写真の暗室作業がそうだったように、自分の写真を自分で仕上げ
る楽しさ、自分にしかわからないニュアンスというのは当然あって、だったら
必要とされている実感があるうちにみんなに手渡してみたい。
そんな気持ちが芽生えました。

今回のタグラインは「目指したのは『いつかのための色』」としていて、実際
長く使える色だと思います。YAMACOLOR 200を使って、みんなのこれか
らの写真ライフが楽しくなればいいなと思っています。

山本陽介 (ヤマカメ)

On the Release of YAMACOLOR

On the website we renewed last year, there is a line that reads:

Film or digital,
every photograph is a precious record of life.
Whatever the device,
we pursue the colors
Yamamoto Camera believes in.

YAMACOLOR 200 was born from this idea.

I won't pretend there was no hesitation in giving away everything I know
about color (honestly, I still wrestle with it). Yamapri Digital, the RAW editing
service we launched last year, was our
first step into this territory — and I'm proud of how it serves those who'd
rather not edit their own photos.

But just as it was with darkroom work in black-and-white photography,
there is a joy in finishing your own photographs with your own hands — a
nuance only you can see. So I thought: while there are people who want
what I have, I should hand it over.
That's how this began.

The tagline for this release is "The color for someday" — and I truly believe
it's a color that will stay with you for years. I hope YAMACOLOR 200 makes
your life with photography a little
more joyful.

Yosuke Yamamoto (Yamacame)

